

牛込二中だより



令和4年度No.1 令和4年4月8日
発行 新宿区立牛込第二中学校
校長 松澤 亮
HP <http://www.shinjuku.ed.jp/jh-ushigome2>

【教育目標】 自ら学び、考え、行動する人 思いやりと責任感のある人 健康で心豊かな人

令和4年度の始まりです

校長を務めます、松澤 亮（まつざわりょう）です。

今年度は、1年生51名、2年生55名、3年生53名の計159名でスタートします。生徒の主体性を生かしたやる気のみなぎる学校で、人も自分も同じように大切にする「リスペクト」の精神にあふれた学校づくりを進めてまいります。よろしくお願いいたします。

令和4年度入学式

4月7日に入学式が行われました。新しい生活の始まりです。

入学式の式辞に、今校長として伝えたい言葉を込めましたので、全文掲載いたします。



穏やかな入学式日和でした。

入学式式辞

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

そして、保護者のみなさま、お子様の中学校ご入学、誠におめでとうございます。感染症対策の中ではありますが、今日ここに入学式を挙行することができました。ご家庭のご協力に感謝いたします。

さて、今一人一人の呼名を終え、みなさんは新入生であると同時に、牛込二中1年生となりました。1年生のみなさん、どんな中学生になりたいですか？

勉強に集中して多くのことを学ぼうとする中学生、意見をたくさん言って学校をよりよいものにしようとする中学生、部活動に熱心に取り組んで自分を高める中学生、さまざまな中学生の姿がありますが、ぜひ自分の理想とする中学生を頭に思い描いてください。このことはそのうちみなさんに一人一人聞きますので、考えておいてくださいね。

理想を実現するためには、まずやってみることが大切です。そう、挑戦です。これまでできなかったことに挑む。その気持ちが人を成長させます。中学校生活には、たくさんの新しい場がみなさんを待っています。理想の中学生になるために、どんどん挑戦していきましょう。

挨拶の最後に、牛込二中の合い言葉を伝えます。それは「リスペクト」という言葉です。尊敬とか、尊重する、という意味の英語ですが、牛込二中では人も自分も同じように大切にするという意味の、合い言葉として使っています。リスペクト。人も自分も同じように大切にする。ぜひ覚えてくださいね。

保護者の皆様、本日入学式を迎えた生徒たちには、挑戦することの大切さとリスペクトについてお話ししました。生徒たちには、数え切れないほどのチャンスと、お互いをリスペクトし合える場面を用意します。挑戦とリスペクトに取り組んだ生徒を、ぜひほめてあげてください。そしてねぎらってあげてください。

1年生のみなさん、入学おめでとう。牛込二中へようこそ。

牛込二中ホームページです。
新しい情報やお知らせなど、こちらを通じて連絡いたします。



「校長日記」は、平日は毎日更新しております。日々のできごとや、校長の考えなどを書いています。

